

発行：地域力推進六郷地区委員会  
 編集：「六郷わがまち」編集委員会  
 事務局：大田区六郷特別出張所  
 〒144-0055 大田区仲六郷二丁目44番11号  
 電話 03(3732)4885  
 FAX 03(3735)6249

六郷わがまち

検索

# 六郷わがまち

六郷特別出張所管内	
人口	男 33,680人
	女 31,892人
	計 65,572人
世帯数	32,688世帯
平成26年10月1日現在	

## 変わりゆくものづくりのまち六郷

大田区は、従業員9人以下の企業が全体の約82%を占める。町工場のまちです。しかし、厳しい企業環境のなか、かつては九千を超えた工場数は約四千に減少し、企業従事者の高齢化が進み、技術の継承など、ものづくりの体制が危惧されてきています。今年3月で創立10周年を迎えた都立六郷工科高校は、地域密着型教育が実を結び、町工場のこれらの課題の解消に大きく貢献し、全国から注目されています。これらになる雑色駅では工事が続いています。今後どのように変わるのでしょうか？ こうした現状を、私も編集委員は取材を通して迫ってみたいと思います。

### 世界も注目 大田区町工場の現状

小惑星イトカワの地表から砂を持ち帰った「はやぶさ」の精密部品の製作や、オリンピックを目指した「下町ボブスレー」の製作には、六郷の町工場が携わっています。このような世界が注目する技術力の集積が、六郷には昔からあります。しかし、町工場では、経営の安定、高齢化や技術継承者不足等の懸念が付きまっています。

これを解決するため、まず企業自身が従業員数や待遇、取引先数、技術特化などの企業力アップに向けた経営努力をしています。

次に、行政の支援も必要です。大田区では、職人の技術に光を当てるため、平成20年度から5年間で『大田の工匠100人』という優秀技術者の表彰制度を作り、103名を表彰しました。平成25年度からは、将来を担う技術者の表彰制度に模様替えし『大田の工匠Next Generation』として、25年度は13名が表彰されました。

さらに、優良工場の表彰やチャレンジ企業応援資金の融資、中小企業幹旋融資、次世代育成サポート推進企業支援資金、その他多くの支援をしています。

### 地域に貢献する六郷工科高校の取り組み

#### 六郷工科高校の概要

校名は世界有数のマサチューセッツ工科大学をイメージし、都内初となる単位制や企業と学校が一体となって生徒を育成する新しい職業教育「デュアルシステム」を取り入れています。



26年度の生徒数は、555名（うち女子88名）。専攻学科は5学科（プロダクト工学科、オートモビル工学科、システム工学科、デザイン工学科、デュアルシステム科）です。



工作機械を操作する女子生徒

教育目標は、働く意味、社会人としてのマナー教育はもちろんのこと、安全作業教育を徹底して、希望進路の実現に繋がっています。

学校関係者に取材したところ、これまでさまざまな教育改革を行ってきています。

同校で特筆されるデュアルシステム科では、4期生までの卒業生数は定員30名に対して15名から20名で推移、5期生は12名と大幅に低下しました。原因は入学時の理解不足によるカリキュラムとの

ミスマッチで、学校は強い危機感を抱き、教員も生徒と同様に就業体験（インターンシップ）を受け、生徒目線に立って指導・支援を行うことになりました。その結果、8期生の卒業生数は25名に増加、9期からは定員数を35名にしました。

一方、他4学科を含め全校での取り組みとして、地域貢献活動を重点的に展開しています。

例えば、水門通りまつりに自主参加する「ねぶた」、『おおた商い (AKINAI) ・観光展』における「馬込三寸にんじんまんじゅう」のパッケージデザインの刷新、パトロールマラソンの実施、東六郷二丁目町会会館のシャッタードアのペインティングなど積極的取り組みがあります。また、近年ではウエイトリフティングでインターハイ出場など、課外活動で活躍する生徒も増えてきており、地域での評価及び存在感も向上してきています。

さらに、大きな声での挨拶など、明るい学園というイメージの変化は生徒自身も感じており、卒業時に調査する生徒満足度は約93%と高い得点になっています。



東六郷二丁目町会会館のペインティング



水門通りまつりで繰り出すねぶた

# デュアルシステム科の就業体験

デュアルシステム科では、1年次は「働くことを体験する」を課題として、1人あたり約6社見学し、そのうちの2社で、各5日間の就業体験を経験します。2年次は「自分の適性、自分を試す」を課題に、前期と後期にそれぞれ1カ月の就業体験、3年次は「進路を決定し、就職する」を目標に、6〜7月にかけて就職を前提にした企業で就業体験を行います。9月16日以降に採用試験を受け、11〜12月にかけて内定先企業で、就業体験を行います。

このような教育システムの結果、就職者の多くは実習先企業に就職し、職場とのミスマッチによる離職はないといえます。

全国的には、20都道府県で、25の工業高校がデュアルシステムを実施していますが、六郷工科高校がモデル校として実践し、他校は試行の段階です。

その理由は、もともと東京都が独自にモデル事業として始めたこと、立地が大田区という町工場にあったこと、その風土である連帯・協力の精神が底流にあったことがあげられます。

実習協力企業は、225社にのぼり、そのうち90%は大田区内の中小企業。約85%の学生が実習先企業に就職し、ものづくりの継承に役立っています。



具体例として、六郷工科高校の卒業生が就職している六郷の企業3社を同校か

# トピックス

## ◆市民消火隊操法訓練大会 開催

日時：11月9日(日) 8時～12時30分頃  
会場：多摩川六郷橋緑地



昨年の様子

市民消火隊は「自分たちのまちは、自分たちで守る」を目的として、区民の方が主体となり各町会・自治会で組織されています。

日々の訓練成果をぜひご覧ください。

## ◆六郷集会室をご利用ください！

六郷地域力推進センター5階には、90人以上の方が利用できる集会室が2室あります。地域活動の場として、ぜひご活用ください。

- ◆面積及び部屋数 95㎡×2室
- ◆料金 (区民平日利用の場合)  
【午前】1,500円 【午後】2,500円  
【夜間】4,000円

各種会議や講演会、文化サークルの活動などにご利用いただけます！



◆お問い合わせ先 6424-8444  
※ご利用の際は「うぐいすネット」にご登録のうえ、事前予約が必要です。

## ◆祝！秋田県美郷町10周年

大田区と友好都市であり、六郷地区と親交が深い秋田県美郷町(旧六郷町)が11月1日で合併10周年を迎えました。おめでとうございます！

これからも美郷町と六郷地区の交流をさらに深めていくことができれば、幸いです。



C社は、従業員90名の中小企業です。石油化学プラントなどの計装システムの設計・開発・製造、工事及びメンテナンスを行っており、海外業務比率も60%と高

B社は、各種機械製作及び数値制御旋盤加工の会社で、社長と3期生の佐藤さんを合わせて従業員7名の町工場です。経営方針は、特殊材料の超耐熱合金の加工技術で優位性を保ち、取引先を複数確保して経営の安定化を図ることでした。



B社社長と佐藤さん



A社社長と山崎さん

A社は、精密金属加工の会社で、社長とご子息に6期生の山崎さんを加えた従業員3名の町工場です。経営方針は「ものづくりは手仕事

ら紹介され、デュアルシステム科の教育成果を確認することにしました。

が原点、多様性とネットワークでこの業界を生き抜く」とのこと。社長は山崎さんの入社を機に就業規則を作り、行く行くは従業員を独立させることも考えています。

山崎さんに聞くと、入社を決めたのは3年間の就業体験を通じて、社長の方針に共鳴したこと、職場環境が自分に合っていて今後の仕事に希望が持てたためとのこと。

い。経営方針は「先端技術で世界を動かす」とのこと。で、語学力も必要だと言います。

卒業生は、2期生の神尾さん、4期生の新谷さん、7期生の上野さんの計3名で、ともに3年間の就業体験を同社で経験しました。

取締役生産部長によれば、就業体験は本人や企業両者にとって有意義で、入社時までに会社や業務内容を知ってもらえる効果は大きいとのこと。

これら3社を訪問して「若者が来ない。入社しても定着しない。その結果、技術の継承が出来ない。」という問題は、企業と学校の連携プレーで大きく改善されると思われました。

（右から）C社取締役生産部長、神尾さん、新谷さん、上野さん

## どうなる？ 雑色駅

京浜急行電鉄(株)の広報課から、雑色駅の新改札口は、駅前広場の計画上、現在地から50mほど川崎方面寄りに移動する予定。



私どもは、一連の取材を通して「わがまち六郷」が、少しずつ変化してきていると感じています。

今後、より充実した、安全な、住みやすい「まち」が形成されて行くことを切に願っています。